

令和5年度 事業計画（案）（令5. 1～令5. 12）

昨今の社会、経済情勢と新型コロナ感染拡大は造園建設業の将来の在り方に大きな危惧をもたらし、会員各社の経営も引き続き厳しい状況に追いやられています。また協会の運営においても会員の減少などにより厳しい状況にあります。

しかしながら当協会は「緑豊かな地球と街を子供たちに」の理念のとおり地球環境と人々の潤いのある生活を守り、次世代に継承していく使命と誇りを持ち造園業の発展と会員各社の健全な育成を目指さなければなりません。

こうした中で今年度も経費の節減に努めながら重点的、効率的に以下により各種事業の展開を図っていきます。

1 緑化に向けた取り組みの推進

- (1) 県ではSDGS、ゼロカーボンなど環境への取り組みを背景に「全国都市緑化信州フェア」の開催が契機となって都市緑化への機運が高まり「信州まちなかグリーンインフラ推進計画」の策定、「信州まちなかみどり宣言」がなされ現在「まちなかグリーンインフラ推進会議」主体となって施策が推進されている。
専門的知見を持つ当協会も協力を求められており都市緑化に向けた様々な取り組みを行います。また緑化施策が推進されるよう特定財源の確保に向けてさらなる運動を展開します。
- (2) ～美しい街は美しい街路樹から～のスローガンのもと、「街路樹点検事業」と連携を取り「街路樹の日」を実施し美しい緑の街路樹を守り育てます。
- (3) 芝への理解、活用に向けた活動を展開し、園庭・校庭をはじめ公共施設の芝生化の推進を図ります。

2 造園技術の向上

- (1) 造園施工管理技士の資格取得のための研修会を開催します。
- (2) 街路樹剪定士の資格取得のための研修会の開催と認定試験を行います。また、日造協が行う街路樹剪定士更新研修会についての支援を行います。
- (3) 樹木医を目指す会員企業の職員を対象に講習会の開催など支援を行います。
- (4) 日造協の植栽基盤診断士研修会、登録造園基幹技能者研修等に参加するとともに造園技術と知識の向上に向けて適宜必要に応じた研修会を開催します。

3 会員企業の経営改善と協会運営基盤の強化

- (1) 造園業を取り巻く諸情勢に対する情報収集と調査研究を行い、それらに対応した研修会、勉強会を開催し会員企業の経営改善を図ります。

- (2) 造園建設業の社会貢献活動への取り組みをアピールします。
- (3) 役員会、専門委員会などの活動を活発化し魅力ある協会づくりに取り組みます。
- (4) 協会ホームページの充実に努め常に新しい情報の提供を行います。
- (5) 協会の持続的な発展を目指し会員企業の若手のネットワークを構築するため「次世代造園人の集い」を開催します。
- (6) 新型コロナウイルス関係の情報を共有しその対策に努めます。

4 行政機関、関係団体との連携の強化

- (1) 国、県、市町村等への提案・要望活動を行います。
- (2) 緑化、造園関係の団体との交流及び連携を図ります。